タイトル：ハイマツ共生菌の集団遺伝解析

（東大院新領域　小泉 敬彦）

ハイマツの共生菌は、子実体を形成して胞子を分散する。ある菌種は地下に子実体を形成し、動物がその胞子を散布する。分散様式の異なる菌種を対象として、国内全域にわたって集団遺伝構造を調べた。遺伝解析の結果、地下生の菌種は地理的に離れた集団間で遺伝構造が大きく異なった。地上生の菌種では集団分化が認められなかったことから、動物による胞子散布が制限されたことで集団間の遺伝的交流が妨げられたと考えられる。